

5分でわかる為替レート

円高であっても、円安？

外国為替レートが1ドル = 120円から1ドル = 110円に変動

すると、為替は「円高になった」といいます。

価格が下がった(120円 110円)のに、円高というのはなぜでしょうか？

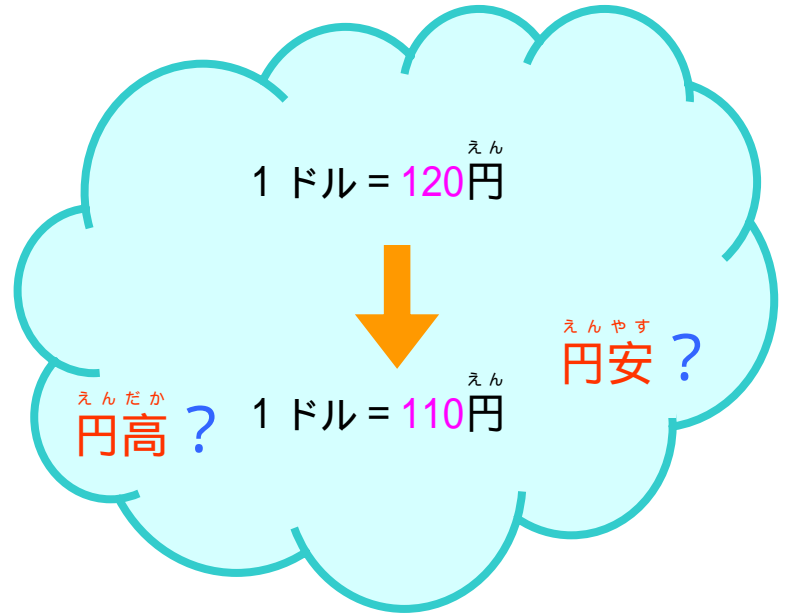
その理由は、ドルではなく、円に注目したことにあります。

ドルからみた為替レート

ドルの価格に注目すると、1ドル = 120円から1ドル = 110円に変動したというのは、1ドル紙幣の値段が、120円から110円に下がったことをあらわします。

これは、ドルの値段が安くなったので、「ドル安になった」といいます。

ドル安(ドルの値段が下がる)とは、ドル売りが増えていることをあらわします。



ドルに着目すると？

1ドル = 120円

1ドル = 110円

1ドルが10円
安くなったので
ドル安

5分でわかる為替レート

円からみた為替レート

「1ドル = 120円」を円に注目してあらわすと、1円 = 0.0083ドル (1 ÷ 120) と換算できます。

同様に、「1ドル = 110円」は、1円 = 0.0091ドル (1 ÷ 110) と換算できます。

1ドル = 120円から1ドル = 110円に変動したというのは、1円 = 0.0083ドルから1円 = 0.0091ドルに上がったことをあらわします。

これは、円の値段が高くなったので、「円高になった」といいます。

円高 (円の値段が上がる) とは、円の買い (ドルを売って円を買うという取引) が増えていることをあらわします。

したがって、為替レートは「円高ドル安になった」といいます。

換算すると...

円に着目すると？

1ドル = 120円

1円 = 0.0083ドル



1ドル = 110円

1円 = 0.0091ドル

1円が0.0008ドル
高くなったので

円高



この場合、為替レートは

円高ドル安になったよ！

